



第5回 JAPANコンストラクション国際賞

2022

建設プロジェクト部門（最優秀賞）

東西道路改修事業（国道70号線） パキスタン 大成建設（株）、（株）建設技研インターナショナル

- ▶ パキスタンからアフガニスタンに通じる西回廊の自然災害に対する強靱化と輸送力強化に貢献。
- ▶ 本邦技術と現地の施工方法それぞれの長所を組み合わせることで、建設コストと工期の縮減を図るとともに、ライフサイクルコスト・環境負荷も低減。



建設プロジェクト部門

五十音順（プロジェクト名）

MRT ダウンタウン線第三期工事；ベドックノース駅・マター駅・ベンクーレン駅及びトンネル工事 シンガポール 佐藤工業（株）

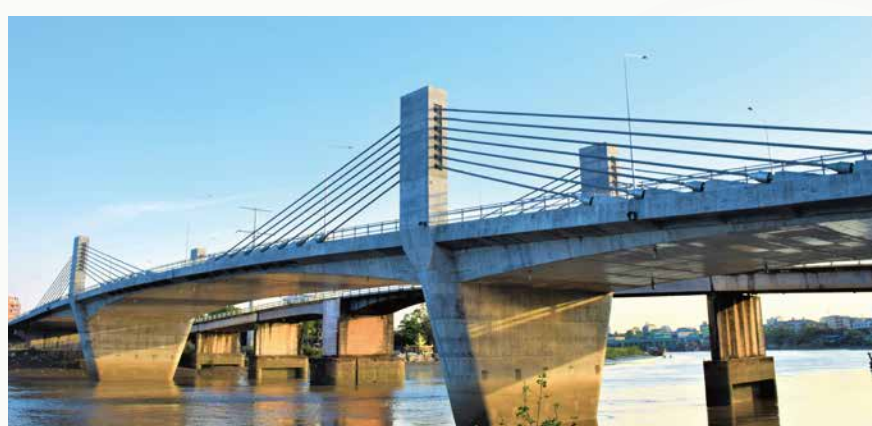
- ▶ 市街地での大深度掘削・複雑な土質条件下でのシールドトンネル掘削・住宅街での大規模開削工事など、技術的難易度の高い3工区を“Made by Japan”で実現



新タケタ橋建設計画 ミャンマー

日本工営（株）、東急建設（株）、東洋建設（株）、（株）IHIインフラ建設

- ▶ ヤンゴン市中心部と南部に位置する経済特区を結ぶ主要な橋梁の架替工事。
- ▶ 周辺の交通環境改善と安全確保並びに現地技術者への技術移転により、ミャンマーのさらなる発展に貢献。



香港国際空港第三滑走路建設 地盤改良工事（第1工区） 中華人民共和国香港特別行政区 五洋建設（株）（Penta-Ocean - China State - Dong Ah Joint Ventureの代表者）

- ▶ 香港で初採用となる日本のCDM（セメント系深層混合処理）工法による大規模な地盤改良を施工。
- ▶ 周辺環境への配慮や安全管理の取組みを高く評価され、現地行政機関から複数の賞を受賞。



特別賞（先駆的事業活動部門）

五十音順（事業活動名）

サブサハラアフリカでの道普請の啓発による 草の根インフラ整備と貧困削減

みちふしんびと
認定特定非営利活動法人 道普請人

- ▶ 生活道路や農道等の整備が不十分なサブサハラアフリカにおいて、地域住民に現地調達可能な材料と人力による道路整備技術を移転。
- ▶ 小規模道路の通行性改善や、整備を通じた建設業の担い手育成により、貧困削減に貢献。これまでに約810名の若者を対象に国立建設技能研修所での土の工法の研修を実施。



東南アジアでの鉄道リハビリ事業等を通じた 現地技術者・企業の戦略的な育成 鉄建建設（株）

- ▶ ODA事業を通して日本流の鉄道技術・ノウハウを積極的に移転。育成した現地技術者や現地協力会社との協働により、周辺国での鉄道プロジェクト受注に成功。
- ▶ 現地技術者を技能実習生として日本に招聘しての技術習得支援や、現地工科大学生を採用し日本国内で2年間研修後、母国で現地技術者の指導にあたるなど、日本の建設技術を移転・承継する仕組みを構築。



米国シリコンバレーにおける 建設テック創出のためのオープンイノベーション活動 Obayashi SVVL, Inc.（（株）大林組）

- ▶ 建設産業のデジタル化に着目し、シリコンバレーでオープンイノベーションを実践すべく、現地研究機関やスタートアップ企業と協業・実験を行うための拠点を開設。
- ▶ 大林組の40年以上に渡る米国事業によって得られたリソースを活用し、建設産業全体の生産性や安全・品質の向上を目指した製品・サービスを開発。現在10数社との間で共同開発進行中。



中堅・中小建設企業部門

杉江製陶（株）

- ▶ セラミック製地中埋設ケーブル保護管を製造する世界で唯一の企業。
- ▶ 地中埋設保護管に求められる高度な安全性、耐久性を実現し、コンパクトな断面や優れた圧縮強度という特性により工期を短縮しコストを削減できることから、各国の空港で採用。
- ▶ 経年劣化がなくメンテナンスフリーであり、ライフサイクルコストの削減に寄与。



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism of Japan (MLIT)